

平成31年(2019年)3月22日
企業局 経営推進課 経営企画・財務係
(課長) 塩原 一正 (担当) 小池 綾菜
電話 : 026-235-7372 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線3918
F A X : 026-235-7388
E-mail:kigyo@pref.nagano.lg.jp

企業局における職場環境改善に関する 職員アンケート結果について

平成31年3月22日
長野県企業局経営推進課

企業局の「しごとと改革・働き方改革」について

企業局のミッション

- クリーン電力と安全・安心な水道水の安定的な提供

喫緊の課題

- 再生可能エネルギーの拡大
- 老朽化・耐震化対策、大規模災害等への対応
- 生産性の向上とワークライフバランスの推進

目的

しごとと改革

働き方改革

への取組により

職員が生き生きと働き、自ら働き方と時間をマネジメントすることができる「柔軟で俊敏な組織」へ転換

BEFORE

固定された席（PC）で決められた時間に勤務

既存のICTが十分に活用されていない

仕事の内容に応じた働き方や、情報共有手段が選択できない

個人の机上や脇机に 文書が保管され所属で共有できない



AFTER

しごとと改革・働き方改革の推進

推進体制

<方向性>

時間・場所にとらわれない働き方

ICTの利活用

多様な執務空間の創出

公文書の組織的共有・管理、電子化

<具体的な取組>

フリーアドレス

時差勤務

テレワーク

Wi-Fi、モバイルPC

電子黒板、テレビ会議

イノベーションエリア（FIKAエリアを含む）など4つのエリア創出

ペーパーレス化

共有書架での保管・保存

電子決裁の推進

効果

ワークライフバランスの推進

チーム力の向上
意思決定・対応の迅速化

コミュニケーション活性化

職員が意欲・能力を最大限発揮

柔軟でイノベティブな発想の誘発

公文書の適正管理

しごとと改革・働き方改革推進本部の設置

〔 管理者
所属長等 〕

WG
企画幹
+
若手職員等



取組推進
・
PDCAサイクル

オフィス・ワークスタイルの変革／フリーアドレスの導入と新たな空間の創出



モバイルPCの導入とペーパーレス化を徹底することで、執務室内の**紙文書を40%以上削減**し、書庫・脇机をできる限り廃して**新たな空間を創出**

●整備期間：H30.9～H31.1 ※公募型プロポーザルにより民間の優れた提案を採用。企画振興部、総務部、林務部と連携

エリア1 フリーアドレス・エリア

➤ フリーアドレスの全面導入

- ・職員の配席を機動的に変化させながら、プロジェクトの推進やOJTを実施することで、企業局内でのチーム力を強化

➤ テレワークの推進

- ・モバイルPCの導入、Wi-Fiの活用により、全職員が出張中、自宅等でテレワークを実践

➤ 机回りの書類・私物の整理

- ・書類を共有書架に、私物をポスト機能を有する個人ロッカーに収納、個人ごとのごみ箱の廃止

エリア3 マネジメント・エリア

➤ 管理者室内の会議・応接スペースの分離

- ・経営会議の定期的な開催やWEB会議による随時の開催による意思決定の可視化

エリア4 レセプション・エリア

➤ 来庁者のための対応窓口の明確化、打合せができるスペースの確保によりホスピタリティを向上

その他の取組

- 健康経営に資する動線確保や机・椅子の導入
- 信州の木を活用しPR など

エリア2 イノベーション・エリア

① ミーティング・エリア

➤ 電子黒板等を活用したペーパーレス会議やWEB会議の実施

- ・電子黒板、タブレット、モバイルPCを活用し、課や係を超えた横断的な打合せや災害対応に利用

➤ スタンドアップ・ミーティングの実施

- ・会議時間の短縮、業務効率化のため、スピーディな情報伝達や短時間の打合せに利用

② ロックイン・エリア

- 職員が一人で集中して業務ができる空間を新設し、執務効率を向上

③ FIKA※(フィーカ)・エリア

- リラックスした打合せスタイルでコミュニケーションを活性化し、柔軟でイノベーティブな発想を誘発

FIKAとは

同僚や友人とコーヒーなどを飲みながらコミュニケーションをとるスウェーデンの生活習慣。

⇒ON/OFFのメリハリをつけ、集中力を高めることで実質的な労働時間を縮減

オフィス・リニューアル/4つのエリア整備

BEFORE



AFTER



フリーアドレス・エリア



レセプション・エリア



マネジメント・エリア



イノベーション・エリア

ロックイン・エリア



FIKA・エリア



ミーティング・エリア



アンケート調査 概要

項目	改修前	改修後
調査実施期間	2018年11月16日～11月28日	2019年1月28日～1月31日
回答者数	26名	26名
調査方法	コクヨ株式会社のアンケートツール「オフィスサーベイ」の基本設問項目を利用し、一部追加設問を設定してオンラインによるアンケート調査を行った。	
質問内容	<ul style="list-style-type: none">・ オフィス環境の満足度・ 働く場所や業務内容の現状と将来像・ 改修後に導入したツールや働き方の変化について 等	
アンケート結果概要	<p>42項目中38項目で満足度が向上（うち19項目で30%以上UP↑） 特に以下の項目では満足度100%を達成</p> <ul style="list-style-type: none">・ オフィスの働きやすさに関する満足度・ デスク上でのコミュニケーションに関する満足度・ オフィスデザインに関する満足度・ 上下コミュニケーションに関する満足度	

■ 総合評価について

改修前

オフィスの働きやすさ：満足度69.2%



満足度 30.8% UP↑

改修後

オフィスの働きやすさ：**満足度100.0%**

全職位・職種・部門において100%を達成
課長級、係長級、電気事業課で大幅に改善

満足度向上のほか、働く環境の重要性についても職員の理解が向上した

■ コミュニケーションの変化について

自席にとらわれない働き方の浸透
(職員の73.1%が業務によって働く場所を使い分けるようになった。)



コミュニケーションの活性化
(部門間コミュニケーション満足度30.8% UP↑)



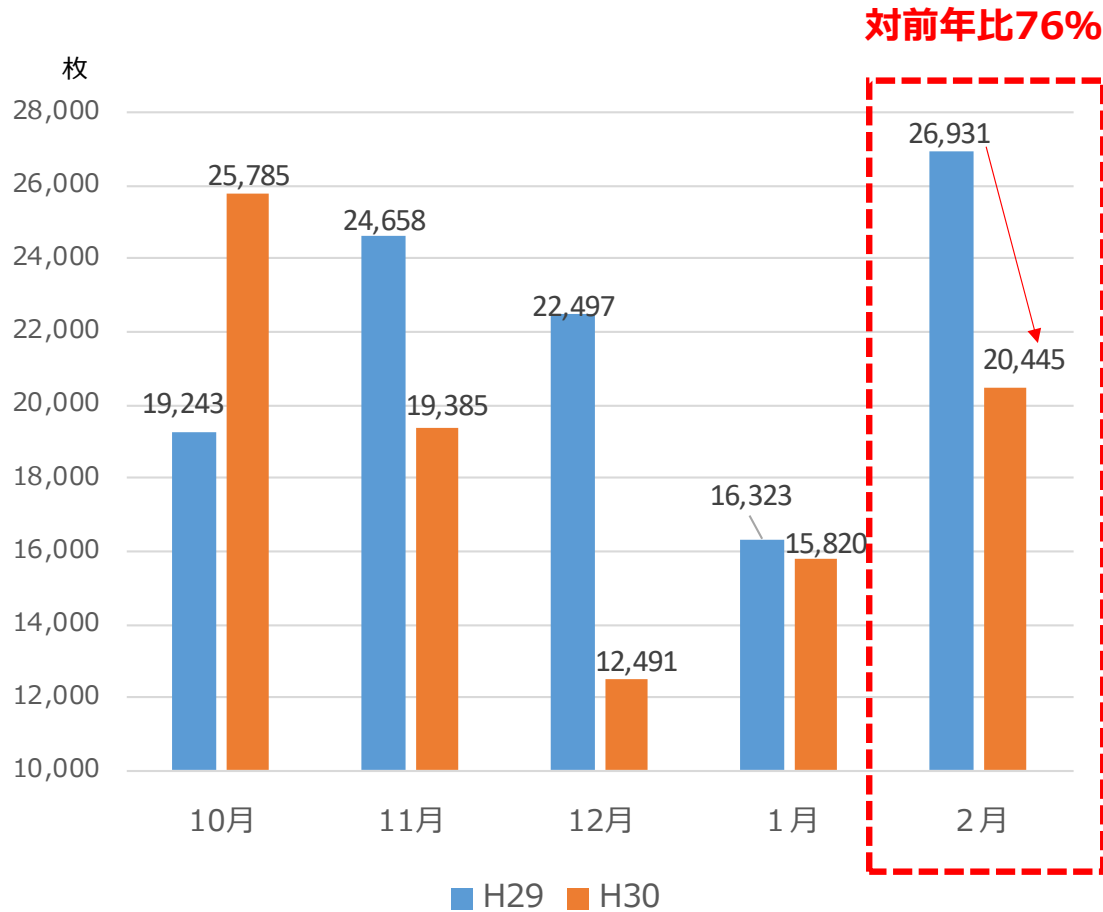
意志決定・対応の迅速度UP
(職員の81%が「意思決定・対応の迅速化」を実感)

■ 今後について

- ペーパーレスによる業務運用について、57.7%と比較的低い満足度にとどまっている。
(改修前：11.5%→改修後：57.7%)
⇒ 引き続き、取組を強化し浸透を図っていく。
- 電話環境（固定電話）に関しても、57.7%と比較的低い満足度にとどまっている。
フリーアドレスや自席にとらわれない働き方にあった電話機能の検討が必要。
⇒ どこでも内線電話が可能な携帯端末を全職員に配備（2019.9予定）
- 「企業局しごと改革・働き方改革推進本部」が中核となってソフト面（時差勤務（コアタイムの設定）やテレワークの推進、会議や打合せの開催方法の工夫、年休の取得促進等）の取組を更に進めるとともに、現地機関への横展開を図る。

本アンケートの詳細については、個別に企業局にお尋ねください。

■コピー使用枚数（企業局本庁）の変化について



オフィス・リニューアル
前後のコピー使用枚数が
前年と比較し減少